

立山&奥大日岳山行報告

【山行日】2025年 10月 4~5日(土日)
【集 合】岩舟支所P AM 2:00
【費 用】マイカー1台 : 30,000円
【メンバー】CL:鈴木 SL石澤
飯野、田崎、根本

4日 雨後曇り 岩舟支所を出発し立山黒部アルペンルートを乗り継ぎ室堂まで行き、雨の為雄山登山を断念し室堂山に登ってからみくりが池を散策し雷鳥沢ヒュッテへ

岩舟支所P2:00=立山駅 P5:55/7:40++室堂ターミナル 8:30/10:40~室堂山荘 11:00~室堂山 11:40~室堂山荘 12:20~みくりが池 12:40~雷鳥沢ヒュッテ 13:00



紅葉の当り年と言われ超美しい。

ナナカマドの赤やミネカエデの黄色の葉が1枚も落ちて無く、赤や黄色に色づいた木々が織りなす紅葉は見事であった。皆さんも車窓からの景色にくぎ付けで、紅葉をスマホに収めながら「これを見ただけで幸せです」と大満足であった。奥大日岳や浄土山の景色も見られていたが、室堂に着くと雨が降り出していた。バスターミナルで降りたらトイレを済ませ、レインウェアを着てザックカバーを付け万全の支度で外に出る。ターミナル前の広場に行くと雨脚が強く、これでは雄山に登るのは危険と判断しターミナルの中に戻った。しばらく様子を見ましょ

うとターミナル奥の自然保護センターに行き、1階の展示室から見学し2階のシアターで立山の自然を学習する。1時間程自然保護センターで学習し、ターミナルに戻るがまだ雨は降っていた。コーヒーショップに入ってコーヒーやおでんをオーダーし、少し早いを持って来た昼食をいただく。昼食が済んで今宵の宿「雷鳥沢ヒュッテ」に、12時頃チェックインできるか TEL すると「大丈夫ですよ」との返事をもらい外に出る。雨が上がっており、室堂平を散策しながら雷鳥沢ヒュッテへ向かった。

に売り切れてしまった。仕方が無く朝2時に岩舟支所を出発し、当日券売り場に並んでチケットを購入する。立山駅に6時前に到着し、駅前で石澤さんを降ろして売り場に並んでもらう。駐車場に向かうと駅前の駐車場に空きがあり、駐車場の奥に止めることが出来た。出発の準備を整えたら立山駅に向かい、駅に着いたら石澤さんと交代して売り場に並ぶ。無事7:40発のチケットをゲットし、出発時間まで駅のロビーで朝食を食べ時間を過ごす。ケーブルカーに乗って美女平まで行き、高原バスに乗り換えて室堂を目指す。弥陀ヶ原付近の紅葉は素晴らしく、特に今年は11年ぶりの



室堂山荘前の展望所まで来ると少し明るくなり、雄山や浄土山の展望が素晴らしかった。誰かが「この



まま宿に行くのはもったいないので、浄土山に登りたい」という。浄土山まで登ると3時間掛かるので、「室堂山なら1時間30分くらいだから、立山カルデラ展望台まで行けば」と言って皆さんは出発する。我輩はすっかり戦意喪失で皆さんのザックを預かって留守番し、皆さんが登って行く姿を後ろからカメラに収める。皆さんは嬉しそうに登って行き、満足そうな顔で戻って来た。このころには空も明るくなり、雄山や浄土山が草紅葉や真っ赤なチングルマに彩られ素晴らしい。ここから室堂山荘の前を通り室堂平を散策しながらヒュッテに向かうが、立山連峰の

岩壁の紅葉が素晴らしく皆さん感動していた。ここからみくりが池温泉に向かってハイマツの遊歩道を歩き、雄山から大汝山、富士ノ折立、真砂岳の稜線を眺めながらトレッキング。皆さん「ウワ～凄い」「綺麗」と声をあげながら歩いて行く。ミドリガ池の草紅葉とナナカマドの紅葉も素晴らしく、ミクリガ池のエメラルドグリーンとナナカマドのコントラストも素晴らしい。そして圧巻はヒュッテに下る斜面のチングルマの紅葉である。雨で立山連峰の縦走は出来なかったが、素晴らしい紅葉は十分に堪能でき大満足の様子。雷鳥沢ヒュッテに着き、受付を済ませて部屋に案内される。部屋に落ち着いたら荷物を整理し、温泉にゆっくり浸かって疲れをいやす。今日は温泉がぬるく、中々体が温まらない。後で調べたら雨の日は温泉の温度が下がるそうで、雨水が温泉に混ざってぬるくなるようだ。温泉から上がった1階のロビーで反省会と思ったら先客で空いて無く、玄関のテーブルで飲むことにする。ビールで乾杯し、今日の立山の紅葉の話で盛り上がる。お酒も飲んでいい気分になり、いったん部屋に戻って休み5:30から夕食になる。美味しく夕食をいただき、明日の晴れを祈って床に就いた。



5日 雨後曇り 雨の為、奥大日岳登山を断念し、室堂ターミナルから立山駅に戻り帰路に着く。

途中、立山博物館を見学し雄山神社を参拝して岩舟支所へ帰着する。

雷鳥沢ヒュッテ 7:00～室堂ターミナル 7:50/8:10++立山駅 9:00/9:20＝立山博物館 9:40/10:10～雄山神社 10:15/10:45＝有磯海 SA11:30/12:15＝岩舟支所 P15:30



朝4時に起床し5時出発の予定だったが、外を見ると風雨が強く天気が良くないようだ。雨風が強い中の登山は危険なので、とりあえず6時まで様子を見ることにする。6時になっても状況は変わらず、皆さんに登山は中止と告げ1階のロビーで弁当を食べることにする。朝食用の味噌汁をいただけないか交渉したがダメと言うので、お湯を貰って弁当をいただいた。朝食が済んだら出発の準備をし、レインウェアを着て出発する。雨が強く石段の道を登るのが辛く、途中に雷鳥沢でキャンプした韓国人の方が荷物を抱えて休んでいた。2日間共雨に降られるのは初めてだが、自然の現象なので受け入れるしか無く黙々と歩いて行く。

石段の道はアップダウンがあるが登りが多く、我輩は息が上がってとてもつらかったが、皆さんはお話ししながら楽に登っていた。室堂ターミナルが見えると平坦な道になり、玉殿湧水から階段を上がってターミナルに入る。階段踊り場のベンチでレインウエアーを脱ぎ、バス乗り場の列に並んだ。8:00発のバスは我々の数人前で満席になり乗れなかったが、8:10の臨時便に乗ることが出来た。雨の中でも弥陀ヶ原の紅葉は楽しめ、立山高原バスの旅は飽きることが無い。美女平でケーブルカーに乗り換え、7分で山麓の立山駅に着いた。駅のお土産店で買い出し、雨が降っている所以我輩が車まで行き駅前で皆さんを車に乗せる。時間が早いので県立立山博物館に寄ることにした。立山博物館は3階建ての瀟洒な建物で、2階と3階が常設展示室になっている。300円で入館券を購入し、立山信仰の世界



がテーマの2階から見学し、信仰の山として崇められてきた立山に寄せた人々の心や登拝、布教の歴史が紹介されている。3階は立山信仰の舞台がテーマで、長い歴史の中で培われ、生活や信仰の舞台となった立山の自然。その成り立ちと、人間とのかかわりが展示されている。ゆっくり見学したら隣接する雄山神社を参拝する。博物館を出て右に進むと雄山神社の参道に出て、右に進むと芦峯中宮祈願所が建つ。雄山神社は霊峰立山を神の山として奉斎し、立山頂上峰本社・芦峯中宮祈願所・岩峯前立社壇の三社殿から成り立っている。我々が参拝するのは、芦峯中宮祈願所である。樹齢500年を超す杉木立の中に鎮座し、神気に満ち厳粛な気配が漂う祈願殿を参拝する。さらに左奥の立山大宮から右奥の立山若宮を参拝し、山道を登って立山開山堂を参拝した。雨は上がっていて、体力が有り余っている皆さんにはほど良い運動になったと思う。駐車場に戻って車に乗り、伝説のコンビニ「立山サンダーバード」に寄りたいと言っていたが、あまりにもマニアック過ぎて却下。立山インター手前でガソリンを入れ、北陸道へ入り有磯海 SA で昼食をいただく。昼食が済んだら帰路に着き、岩舟支所に3時間早く帰着した。

がテーマの2階から見学し、信仰の山として崇められてきた立山に寄せた人々の心や登拝、布教の歴史が紹介されている。3階は立山信仰の舞台がテーマで、長い歴史の中で培われ、生活や信仰の舞台となった立山の自然。その成り立ちと、人間とのかかわりが展示されている。ゆっくり見学したら隣接する雄山神社を参拝する。博物館を出て右に進むと雄山神社の参道に出て、右に進むと芦峯中宮祈願所が建つ。雄山神社は霊峰立山を神の山として奉斎し、立山頂上峰本社・芦峯中宮祈願所・岩峯前立社壇の三社殿から成り立っている。我々が参拝するのは、芦峯中宮祈願所である。樹齢500年を超す杉木立の中に鎮座し、神気に満ち厳粛な気配が漂う祈願殿を参拝する。さらに左奥の立山大宮から右奥の立山若宮を参拝し、山道を登って立山開山堂を参拝した。雨は上がっていて、体力が有り余っている皆さんにはほど良い運動になったと思う。駐車場に戻って車に乗り、伝説のコンビニ「立山サンダーバード」に寄りたいと言っていたが、あまりにもマニアック過ぎて却下。立山インター手前でガソリンを入れ、北陸道へ入り有磯海 SA で昼食をいただく。昼食が済んだら帰路に着き、岩舟支所に3時間早く帰着した。

